

いつもお世話になります。新年のあいさつをしたばかりだと思っていたら、もう二月。昔から「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われますが、逃げ足の速い二月を追いかけるように時を過ごせば気持ちが焦るばかりです。改めて時間の大切さを全身で感じながらゆったりと構えて暖かい春を待ちたいものですね。

## 365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント:【時は「?」なり】

時間に対する考え方や習慣と年収の関係を調べた調査結果があります。年収 400 万円台の人たちと 1500 万円以上の人たちに、「人生の目的や目標を常に意識している」「仕事の目的や意味を常に考えている」「やりたいことリストを作っている」「グチを言わない」「迷ったら新しい選択肢を選ぶ」などの質問をしたところ、どの設問に対しても「当てはまる」と答えた率が高かったのは年収 1500 万円以上の人たちでした。



目的意識を高く持って常にチャレンジし、失敗してもクヨクヨしないで先に進む。つまり年収の差を生む要因のひとつは「時間」に対する考え方で、「時間」の意識が高い人ほど成功の確率が上がるのかもしれませんが。

「お金と時間はどちらが大切か」というのは古くて新しい問いです。際限なく増やしたり貯めたりできて、しかも貸し借りまでできるお金に対して、増やすことも貯めることも貸し借りもできず、一度失うと二度と取り戻せない時間のほうがはるかに大切な資源だというのは、商売をしている人なら常々感じていることでしょう。しかし、「たいていの経営者は、その時間の大半を“きのう”の諸問題に費やしている」(ピーター・ドラッカー)。これが現実かもしれません。

西洋のことわざは「時は“金”なり (Time is money)」ですが、商売上手で知られる華僑の人たちは「時は“命”なり」と言うそうです。これは相手の時間に対しても同じことが言えるでしょう。

例えば商談のために1時間作ってもらうのであれば、商談相手の命の中の1時間分を分けてもらっていると考えるのです。商談に15分遅れたら相手の命を15分間ムダにしたことになります。何の準備もなしに適当な商談をしたら、相手の命はもちろん自分の命も1時間分のムダ遣いです。改めて時間の重要性に意識を向けてみたいですね。濃密で意義のある時間を過ごせるかどうかは、商売の成功と共に豊かな人生のためのテーマでしょう。



## トレンドを斬る!

昨年の流行語大賞にも選ばれた岩手県北三陸地方の方言「じぇじぇえ」。今、日本各地の方言を使ったアイテムが密かなブー

ムです。『ラジオ体操第1 ご当地版』は津軽弁から鹿児島弁まで10の方言によるラジオ体操が収録され、聞き流すのも楽しいと売上を伸ばしています。北海道や群馬、長崎など、郷土の出来事や生活描写をその地方の言葉で読み上げる『方言かるた』も順調です。方言の持つ素朴さや温かさに癒される一方で、地域文化の継承にも意義がありそうです。



今を生きる  
先人の言葉

人に勝つより  
自分に勝つ

日本の柔道家である嘉納治五郎の言葉。人を蹴落とすのではなく、今よりさらに強い自分になるよう努力を重ねれば、おのずと人より秀でた人間になれるものだ。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【2つの人生を生きる：伊能忠敬】

実測で日本地図を作成し初めて正確な日本の姿を世界に伝えるきっかけを作った伊能忠敬は、1745年に千葉県九十九里町で生まれました。



生家の小関家は裕福な名家でしたが、母の死を契機に婿養子だった父は忠敬を残し実家に戻り、後に忠敬も引き取られます。教養人だった父から読み書きを学び学業優秀だった忠敬は、17歳で佐原の大商家・伊能家の婿養子に入ります。婿として婚家での人間関係に苦しみながらも事業家としての才能を發揮し、家業は隆盛を極めて佐原村の名主も務めました。忠敬41歳のときに東日本一帯を襲った天明の大飢饉では、忠敬の機転と行動力により佐原村では一人の餓死者も出さずに乗り切ったのです。人生50年といわれたこの時代、忠敬は49歳で家督を長男に譲り隠居の身となります。ここからが忠敬の第2の人生のスタートです。勉学が好きで後世に名を残す仕事をしたいと願いながら養子となり、家業に邁進してきた忠敬が抱き続けた夢は、師匠である19歳年下の高橋至時に出会い天文暦学を学ぶことで実っていきます。地図の印象が強い忠敬ですが、もとは「地球の大きさを測りたい」という壮大な夢が原動力でした。測量を幕府に認めてもらう方便として地図の作成を上申します。それがきっかけで10度に渡る過酷な全国の実測を経て、後世に名を残す偉業を成し遂げたのです。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：クラウドファンディング】

ある目的や志、アイデアの実現や商品化に向けてネットを通じて不特定多数の人たちから資金を集める行為。「大衆 (crowd)」と「資金調達 (funding)」からなる造語。資金の見返りに出資者に物やサービスを提供する「購入型」、リターンや見返りが一切ない「寄付型」がある。新事業への期待感や理念理想に共感することが出資の動機となる。出資を募るためのネットサービスを利用すればクレジットカード決済でも出資ができる。

トナリの本棚

【国のない男】

村上春樹など多くの文学者に影響を与えたアメリカを代表する作家カート・ヴォネガットの遺作。含蓄ある文章の中には愛すべき人類へ向けて贈るジョークや鋭い警鐘が詰まっています。この中に人生の道しるべを見出す人も多いようです。



元氣と氣づきを提供する

豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋2-60-7ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

http://www.satousigeru.jp

mail : info@satousigeru.jp